

谷戸沢処分場で保全育成を行っている 「オオムラサキ」の成長の様子を写した動画を作成しました

東京たま広域資源循環組合（管理者：多摩市長 阿部裕行）が管理する谷戸沢廃棄物広域処分場（東京都日の出町）では、埋立て終了後における処分場の自然再生の取組として、里山を代表する生き物であるオオムラサキの保全育成を行っています。

令和8年6月27日（土）に開催を予定していた「令和8年度国蝶オオムラサキ見学会」が、台風による影響で中止となりましたが、この度、多くの皆様に谷戸沢処分場のオオムラサキの様子をお届けするため映像を作成しました。

映像では、今年度のオオムラサキの保全育成の様子や一生のサイクルをご覧いただくことができます。



谷戸沢処分場のオオムラサキ

令和8年度

▶画像にはYouTube 動画へのリンクを設定しています。クリックすると動画が開きます。



越冬幼虫



終齢幼虫



蛹



成虫

谷戸沢処分場では、清流復活用貯水池やビオトープを設置するなど、生態系を豊かにする取組を続けた結果、里山の生態系が再生しています。これらの取組が評価され、令和7年9月に内陸の管理型最終処分場として初めて「自然共生サイト」に認定されています。

なお、谷戸沢処分場は、処分場として閉鎖管理を行っており、一般開放された施設ではありません。当組合では、毎年、多摩地域の皆様を対象としたオオムラサキ見学会や紅葉の自然観察会などを開催しています。詳細はその都度、当組合ホームページに掲載します。

今後も、当組合は谷戸沢処分場の里山的自然環境の保全・創出に努めてまいります。

◆循環組合ホームページ：<https://www.tama-junkankumiai.com/kankyo/hozen>

◆他参考サイト：環境省 自然共生サイト 生物多様性「見える化」マップ

・谷戸沢廃棄物広域処分場ページ

： https://www.biodiversitymap.env.go.jp/initiatives?site_no=920251200031



自然共生サイト認定

30by30